

当院のご紹介	1
臨床研修の理念と特徴	3
研修プログラムの特色	5
研修のご案内	7
研修医からのメッセージ	10



東京女子医科大学

# 八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

## 初期臨床研修プログラム



2026年改訂



## 地域社会に信頼される病院としての、心温ま

### 基本方針

- 本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- 患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。
- 患者さんに寄りかかるとして、皆さまの健康を第一とします。
- 中核病院として、皆さまの健康を支えます。



画像診断・IVR科では最新鋭の3.0T MRI  
その他、CTや血管撮影なども最新の機器を設置。



お産を安心・安全に行えるLDR



手術支援ロボット『ダヴィンチ』



あらゆる救急患者  
高度な設備を持つ

千葉県東葛南部医療圏で  
 急性期医療を担う地域中核病院です。



**手術室** | 広い空間と最新の設備を有する手術室。



**ER** | 緊急処置用の无影灯、人工呼吸器、各種モニターを装備。



# る医療と急性期・高機能・先進医療との調和

り添ったチーム医療を行います。

て、地域の診療所・病院等との連携を推進し、  
 を維持・増進します。



に対応できる  
 ICU



抗がん剤の治療を効率よく行うための  
 明るい化学療法室



**職員食堂** | 憩いの場所として、病院内で一番のガーデンビューサイドにある職員食堂



### Principles and characteristics of clinical training

# 臨床研修の理念と特徴

東京女子医科大学附属八千代医療センターは、医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修の基本理念「臨床研修は、医師が医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。」に基づき、研修を行います。当院は、救急、成人病、がん、周産期・小児医療を特色とし、市中病院機能を持ち合わせたハイブリッド型の大学病院です。研修医には、プライマリ・ケア、救急症例を骨格とした総合研

修を提供します。また、定員は7～11名であるため密度の高い研修環境の提供をお約束します。1年次に医師としての基盤となる内科、麻酔科、救急科、外科研修をおこないます。2年次に、小児科、産科、精神科、地域医療の研修をおこないます。完全電子化病院で、いつでもどこでも近くの電子カルテを利用して豊富な指導陣から指導を受けることが可能です。当院の研修医は生き生きと働いていると言われることがあります。その大きな理由は、診療科の壁が低く、職員同士の距離が近く、横断的で働きやすい医療環境があるからです。ぜひ、一度見学にきてみませんか？

## ■ 当院で臨床研修を行うメリットと特徴



- 1 八千代市と周辺地域における急性期医療
- 2 救急車年間5,000台受入れ
- 3 トリアージ機能を備えた北米ER型小児救急
- 4 外科手術 3,000件/年
- 5 千葉県総合周産期母子医療センター（県内で3施設）の併設
- 6 日本で30番目の小児総合医療施設、千葉県初の小児救命救急センター（小児系ベッド数 115床は県内最大規模）
- 7 すべての内科専門医が指導、総合内科研修が可能
- 8 医師会、周辺医療機関と連携した地域医療支援病院
- 9 診療科の垣根を越えた横断的チーム医療が特徴のIT病院
- 10 最先端機器を駆使した高度医療の実践

## 指導体制

卒後臨床研修管理委員会は、全体構想に沿って初期臨床研修を円滑に実施するため、病院長、プログラム責任者、関係診療科科长と協議の上、プログラムを柔軟に運用する。

## 指導医

- ① 研修指導医は各科長が推薦。プライマリ・ケアの指導が可能で情熱を持つ医師を充てる。
- ② 臨床研修事項に関しては各科長の下承のもとに研修指導医が優先的に決定するが、常に科長に報告しなければならない。診療上の最終責任は病院長が負う。
- ③ 研修は指導医リーダーを中心とし、受持医、研修医が診療チームを構成して行われる。
- ④ 研修医はオンライン卒後臨床評価システム（EPOC）により指導医の評価を行う。

## 研修セミナー

- ① 病院カンファレンス：年に10回（CPC3回）
- ② 内科カンファレンス：年に4～5回
- ③ 小児救急カンファレンス：トリアージからアドバーストリアージまで、年に10回
- ④ 初期研修医からのリクエストによる勉強会・講習会

## 医療安全

患者に安全な医療を提供することは、全ての医療機関にとって不可欠な要件である。本学では医療安全委員会が十分に機能しうる体制になっており、些細なインシデント、アクシデントレポートでも重要な報告として認識し協議する。

# 研修コース

## Training course

将来の専門性にかかわらず、医師としての基盤を2年間で作ることを目的とした総合研修が特色です。プライマリ・ケア、救急疾患の研修が可能な環境を提供します。

### ●基本プログラム

医師法（昭和23年法律第201号）第16条の2第1項に規定する臨床研修に基づいて、医師としての人格をかん養することができる研修を目指し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズと医師としての社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身に付けることができる内容をもった研修を行います。八千代医療センターは救急疾患を多く受け入れており、プライマリ・ケア、救急医療を基盤とした総合的な研修を特色とするプログラムです。

### ●小児科プログラム

八千代医療センターの小児科は、一般小児74床、小児集中治療（PICU、小児救命救急センター）10床、新生児（NICU、GCU、総合周産期母子医療センター）37床を有します。内科・外科を問わず数多くの小児疾患を経験可能です。年間2,000人の

入院患者（2024年度）、小児救急は外因疾患も含めて年間約2万人を受け入れています。2年間の研修を経て、“こどものすべてを診る”小児科診療の礎を築くことを目標とします。研修のサポートを行う小児科医のメンターを設置し、2年間の初期研修をより有意義にすごせるよう支援します。

### ●産婦人科プログラム

将来産婦人科医を目指す研修医のため、産婦人科研修に重点を置いたプログラムです。産婦人科重点プログラムは、1年目から産婦人科の専門的な研修が可能なおこと（分娩担当や手術の執刀など）など、将来産婦人科専攻を考えている初期研修医の先生に最適なプログラム編成となっています。さらに、周産期研修の一環として、新生児蘇生技術の習得を目標にNICUで1ヶ月研修します。救急部では産婦人科救急事態に対応できる全身管理の習得を目指します。



Features of the training program

# 研修プログラムの特色

## 2年間のプログラムでスムーズなステップアップ

医師への第一歩を踏み出す実践の場が2年間の臨床研修です。診療科を超えた横断的連携による研修環境を生かした総合臨床研修で、基本的な診療技術研修から専門領域まで、スムーズなステップアップを図ります。

### ●必修科目

内科24週以上、救急8週以上、地域医療（一般外来、在宅医療を含む）4週以上、麻酔科8週以上、産婦人科4週以上、小児科（一般外来を含む）8週以上、精神科4週以上。

### ●選択科目

上記以外の診療科。東京女子医科大学病院・足立医療センターの診療科も選択可能である（人数制限あり）。



## 研修の流れ



1年次

2年次

研修の実効を挙げるため研修ローテーションの順番は許される範囲内で委員会が調整を行います。



Guidance of training

# 研修のご案内

東京女子医科大学八千代医療センターにおける研修の最大の特徴は、総合的な研修です。

医師としての基盤を2年間でしっかり作り上げ、将来、どの診療科に進んでも2年間の研修が活かせるように設計しています。



## 内科

一部、東京女子医科大学病院で研修を行います。

### 血液内科



造血器腫瘍、各種がんをはじめとする悪性疾患、貧血、出血性疾患、免疫異常症などの疾患の診断ができる知識、技術の習得を目標とし、臨床血液学、臨床腫瘍学の知識、テクニックが広く学べます。

### 循環器内科



急性心筋梗塞や心不全、重症不整脈など緊急性の高い循環器疾患を豊富に経験できます。地域の循環器救急医療のニーズに応えながら循環器疾患診療を通して内科全般の基本的診療研修を行います。

### 糖尿病・内分泌代謝内科



患者数の多い糖尿病、正しい診断の難しい内分泌疾患、動脈硬化性疾患に直接につながる脂質異常症など全身疾患を学び正しく診断し治療法を習得することができます。

### 消化器内科



消化器疾患のプライマリ・ケアを身につけ、問診、身体所見から鑑別診断を行い、適切な検査を試行し、緊急性の有無を判断し、入院の適否を判断し適切な初療を行う能力を身につけます。

### 呼吸器内科



呼吸器内科患者の初療の対応が可能になるような研修です。プライマリ・ケアを身につけ、問診、身体所見から鑑別診断を行い、適切な検査を試行し、緊急性の有無を判断し、入院の適否を判断し適切な初療を行う能力を身につけます。

### 脳神経内科



脳血管障害に偏らず、幅広い神経内科救急疾患の研修が可能であり、神経免疫疾患が多いのも特徴です。また、他院から電気生理検査、神経放射線の専門家を招いて、専門的指導を仰ぐ機会を設けています。

### 腎臓内科



慢性糸球体腎炎・ネフローゼ症候群・急速進行性糸球体腎炎・二次性の腎疾患・急性腎臓病・慢性腎臓病の保存期から透析導入・透析合併症など、腎臓内科領域の幅広い疾患を経験することができます。

### リウマチ・膠原病内科



全身性疾患である当科疾患の様々な問題を有する症例の主として入院診療に携わります。病歴聴取や身体診察に重きをおいて病態を評価し、問題解決していくことで礎となる臨床能力を養成します。



# 外科

## 消化器外科



消化器疾患のプライマリ・ケアを身につけ、問診、身体所見から鑑別診断を行い、適切な検査を試行し、緊急性の有無を判断し、入院の適否を判断し適切な初療を行う能力を身につけます。

## 乳腺・内分泌外科



乳腺疾患に対する診断から手術治療、化学療法・内分泌療・分子標的治療などの薬物治療、再発時の治療ならびにケア、緩和医療まで幅広い知識を身につけます。

## 呼吸器外科



呼吸器外科疾患（肺がん、気胸、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸水貯留、呼吸器感染性疾患）全般を対象とし、実践を通してその知識・技能を習得します。

## 小児外科



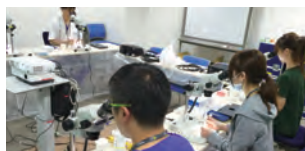
日常的疾患、急性疾患の診断、手術を通して、小児外科疾患の診断、治療の基本的アプローチを修得します。

## 心臓血管外科



心臓血管疾患一虚血性心疾患、弁膜症、大動脈瘤、末梢血管病変などを中心として幅広い領域を研修対象としています。

## 脳神経外科



県内屈指の豊富な症例数のもと、脳外科初期診療を習得します。特に脳卒中診療では急性期から予防手術まで、最先端治療を経験、実践します。



# 小児科

## 小児科



小児疾患のプライマリ・ケアから在宅管理まで、総合的に小児を診ることを実践します。

## 神経小児科



てんかんなどのけいれん性疾患、先天異常や周産期障害、生後に発症した疾患に起因する運動障害、知的障害などの診療を行います。

## 新生児科



15床のNICUにおいて、早産児、呼吸障害、黄疸、先天異常などの集中治療を行います。

## 小児集中治療科



10床のPICUにおいて、重症な小児疾患や小児外科疾患、熱傷、薬物中毒、頭部外傷の集中治療管理を指導します。



# 研修のご案内

Guidance of training

## 産婦人科(母体胎児科)(婦人科)

産婦人科



母体胎児科では母児間の繋がりに配慮した医療を経験します。ハイリスク例とは別に正常妊娠・分娩も扱っており、疾患の治療とは違うマネージメントを経験できます。婦人科では婦人科良性・悪性疾患、内分泌疾患などあらゆる領域の疾患に対応しています。

## 麻酔科

麻酔科



呼吸や循環管理を中心とした麻酔、集中治療に必要な知識や考え手技を習得し、チームの一員として働くことを学びます。

## 救急科

救急科



救急車で搬送される救急患者への初期対応と救命処置、それに引き続き行われる集中治療室での全身管理まで一連の流れを経験できます。

## 精神科

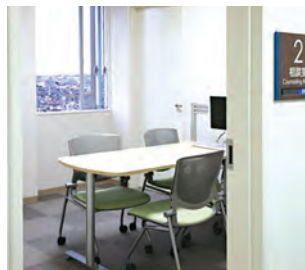
精神科



協力型臨床研修病院である東京女子医科大学病院(新宿区河田町)において行います。

## 地域医療

地域医療



千葉県八千代市医師会の診療所、県内の病院、その他東北地方の病院でも研修が可能です。



## 選択科目

整形外科



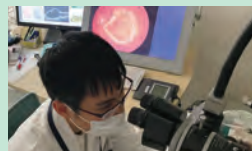
脊椎骨髄外科、関節外科の研修と同時に、豊富な外傷を経験することが出来ます。脊椎手術、内視鏡手術まで研修することが出来ます。

形成外科



日常診療で遭遇する救急外傷(熱傷・顔面外傷など)から専門性の高い疾患まで幅広い手術治療を経験することができます。

眼科



組織レベルで直接観察ができ、全身とも関連深い領域です。基本的な知識や技能、眼科医以外でも必要とされる眼科の救急対応の修得、各々の研修目標に向けた研修を目指します。

耳鼻咽喉科・小児耳鼻咽喉科



声とことばの障害、嚥下障害、声門下狭窄などの気道狭窄、聴こえの障害、嗅覚の問題などQOLの問題について学びます。対象はこどもから高齢者まで幅広いものです。これらに対する評価や治療を学ぶ過程は、人間とは何かを学ぶ機会でもあります。

泌尿器科



泌尿器科領域のプライマリケアを習得すると共に、腎移植やロボット支援手術など専門性の高い診療が経験できます。

皮膚科



炎症性から皮膚腫瘍まで皮膚疾患全般についての基本的な診断、治療を習得できます。皮膚病理、アレルギー検査やレーザー治療、皮膚腫瘍摘出をはじめとした皮膚外科領域も学びます。

放射線科



国内でも有数の最新先端機器を装備しています。CT・MRIなどの画像診断、IVRの入院治療、術前・術後の外来診療を行います。

病理診断科



標本作製のため切り出し、顕微鏡所見を加えた病理所見の取り方、CPCにおける発表スライドの作成などを指導しています。

化学療法科



エビデンスに基づいた適切な化学療法を患者さんに合わせて行っています。腫瘍に対する基本的な考え方を学ぶことができます。

# 研修医からのメッセージ

Message from Current Trainees

東京女子医大八千代医療センターは、現在500床以上の病床数を持つ、地域の中核病院です。豊富な診療科が揃ってながらも、診療科同士の垣根は低く、困った時も相談しやすい環境が整っています。自分は学生の時に一日、救急科の見学をさせていただき、研修医が救急車のファーストタッチを行い、上級医に相談、的確なアドバイスのもとに診断、治療まで携わっている様子を見て、この病院の研修を志願しました。実際救急外来の当直をしてみると、重症な方や診断に難渋する患者さんなど大変な夜もありますが、上級医のサポートが必ずあり、さらに当直が終わった後は、上級医とともに振り返りを行い、その夜の反省を次に生かすことができ、日々成長を実感できます。また、研修は選択期間が長く、自分の将来進みたい科を見据えて回るもよし、まだ進路が決まっていない場合は、色々な科を回るもよしです。2年間の研修期間はあっという間ですが、充実した研修生活を私たちと一緒に送りませんか？ぜひ一度、見学にお越し下さい。研修医一同、心よりお待ちしております。

八千代医療センターの良い点としては診療科が豊富で、どの科でも質の高い指導を受けられるところだと思います。周産期母子医療センター、三次救急など目立って特徴のある科もあり、その科を志す人にはもちろんですが、まだ進路を決めきれない、迷っているという人、研修中は他の科もしっかり勉強したいという人にも自信を持ってお勧めできます。

もう一つ大きな特徴は、診療科やコメディカルの方々と垣根が低い点です。見学に来た時、職種に関わらず廊下で挨拶をしているのが印象的でした。実際の研修でも、研修した科の先生をはじめ、当直で一緒にいた先生も研修医の顔を覚えてくださり、当直の症例で振り返りたいもの、相談したい症例など、気軽に相談にのっていただけました。

コメディカルの方々からも学ぶことがたくさんあります。当直の時は看護師さん検査技師さん、薬剤師さん、また定期的に開かれるリハビリカンファや栄養科のカンファでは栄養士さん、リハビリスタッフさんにも積極的に意見を頂けて、チーム医療が実現されています。

二年間、有意義かつ楽しい研修が行えると思います。ぜひ一度、見学にいらしてください。



八千代医療センターの特徴はなんと言っても大学病院と市中病院のいいところを兼ね備えている点だと思います。普段の病棟業務では市中病院ではあまり経験することのないであろう珍しい症例も少なく勉強になります。そして当直の時には八千代市内の一次から三次救急全てがくるので、急性上気道炎から心肺停止の症例まで幅広くみる事ができると思います。ここで2年間勉強したら3年目から有意義な専門研修をスタートできると思います。もし興味がありましたら是非見学に来て下さいね。



10

## ようこそ東京女子医科大学 八千代医療センターの卒後臨床研修センターへ

東京女子医科大学 八千代医療センター  
センター長

高梨潤一

センター長ご挨拶



東京女子医科大学八千代医療センターは、2006年12月に開院した新しい病院で、救急、周産期、小児医療を中心に、また成人では現在患者数が急増しているがん、心血管病、生活習慣関連疾患など幅広い分野で地域連携を中心としたハイブリッド型の大学病院です。各疾患分野では、専門医とその育成にあたる指導医をそろえています。初期研修に対しては、多くのプライマリケア、救急症例を受け入れ、年間徒歩来院10000人、救急車5000台で研修指導を行い研修環境を提供しています。

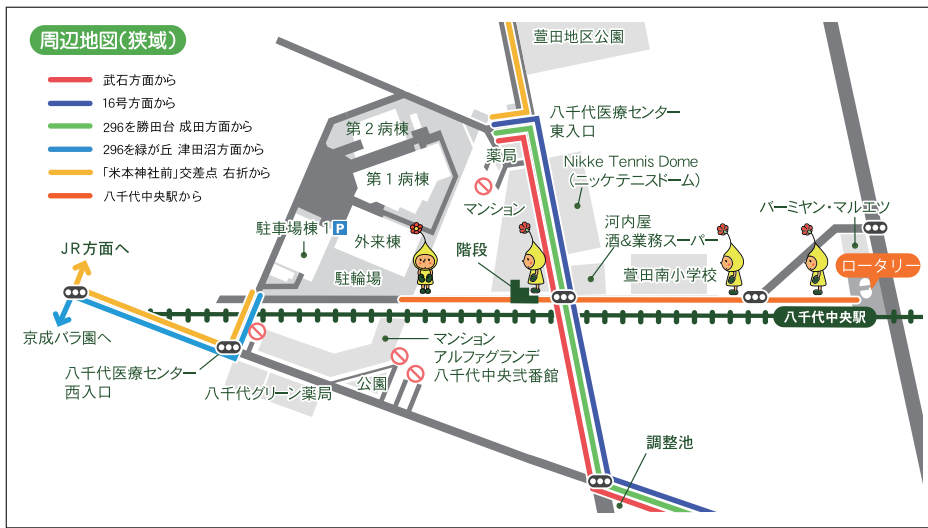
初期内科研修では、透析導入を含めすべての分野の内科の指導医がいて充実した研修を提供しており、外科では年間手術3000件と将来外科志望医師にも満足できる研修となっています。小児科はNICU、PICU含め115床と県内最大規模であり、小

児科研修にも適しています。産婦人科の分娩数年間は約500件であり、周産期の充実した研修も十分可能です。2016年8月には新棟が開床し500床となり、救命救急、SCU(stroke care unit)も始まっています。

初期研修医は2008年より受け入れを開始しています。当院は医局が一つであり各診療科の間の垣根が低く、大病院にありがちな縦割りの診療ではなく、各科気軽に相談できる体制になっており患者本位の診療を心掛けています。

初期研修は、医師としての第一歩の研修であり長い医師のキャリアとして極めて大切な時期であります。私たちは、研修医の皆さんにとって大切な時期であることを認識し、すみやかに後期研修体制へと進めるような指導を心掛けています。

## 当院へのアクセス



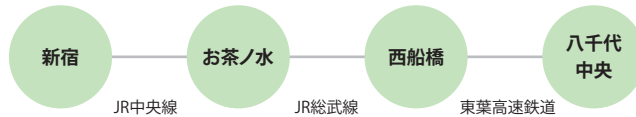
### 「八千代中央駅」から徒歩約9分

「八千代中央駅」から歩いて八千代医療センターにご来院の際は改札を出たら左へ、高架の沿道を緑が丘方面に歩いてください。信号を2つ渡って階段を登ってそのまままっすぐ進んでください。

東京駅から約50分



新宿駅から約1時間10分



成田空港駅から約50分



## 東京女子医科大学 八千代医療センター

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田477-96

TEL.047-450-6000

<http://www.twmu.ac.jp/TYMC/>